

# 大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施

国土交通省北陸地方整備局  
松本砂防事務所

～大規模災害に備え、関係機関と行動を確認・共有しました～

令和3年10月4日

近年、平成30年北海道胆振東部地震や令和元年東日本台風など大規模なものから、令和3年8月に長野県岡谷市で発生した局所的なものまで多くの土砂災害が頻発しています。

国土交通省松本砂防事務所では、平成25年度に管内の関係行政機関とともに「信濃川上流・姫川流域地域連携会議」を設置し、以後、大規模な土砂災害に対し迅速な対応が行えるよう防災訓練を実施しています。本年度は松本市を対象として、大規模土砂災害発生時に関係機関が取るべき一連の行動を確認・共有し、危機管理体制の強化を図ることを目的とした合同防災訓練を開催しました。

日時：令和3年10月4日（月）13:00～16:00  
場所：・長野県松本市 松本市防災物資ターミナル  
・サテライト会場（各機関の会議室等）

訓練方式：解説者付学習型訓練

【参加機関】松本市、松本市消防団、長野県（危機管理部、建設部、松本建設事務所）、松本広域消防局、陸上自衛隊第13普通科連隊第3科、長野地方气象台、北陸地方整備局、松本砂防事務所

【解説者】国土交通省国土技術政策総合研究所  
土砂災害研究部砂防研究室  
室長 山越 隆雄 氏

【見学者】白馬村、小谷村、新潟県 他 計68名※下線の機関はサテライト参加



訓練実施状況



サテライト会場参加の様子

## 松本市長による講評

災害発生時にどれだけ正確な判断が出来るか、また異なる組織が一体となって連携できるよう日頃からの準備等が必要であると感じた。今後も今日の訓練が生かせるよう対応していきたい。



松本市長  
臥雲義尚氏

## 【災害想定】

長野県中部を震源に発生した地震により、長野県松本市を中心に河道閉塞・がけ崩れ・地すべり等が同時多発的に発生するとともに、地震発生後の降雨による二次災害等の危険が高まる想定。



訓練資料

河道閉塞 イメージ図(CG)